

(別紙6)

令和3年9月6日公表

### 審議会等会議録

会議名	富良野市障がい者計画策定市民委員会 (令和3年度 第1回)
開催日時	令和3年7月30日(金) 午後5時00分から午後6時20分
開催場所	富良野市総合保健センター2階 会議室
出席者等	<委員> 濱本 渉、久田 到、川瀬 友彦、桐澤 幸子、 久保 昌己、桑原 啓成、佐藤 一美、藤田 嗣人、 菅原 英一(計9名) <事務局> 柿本保健福祉部長、西尾福祉課長、岡田福祉係長、 福祉係 向山
公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ----- <一部公開又は非公開の理由>
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
傍聴の人数	0 人
議事録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 録音テープ
会議の内容	1. 開 会 2. 辞令交付 3. 市長挨拶 4. 市民委員の紹介 5. 委員長・副委員長の選任 6. 協議事項 ・第5期富良野市障害者計画の策定について 7. 閉 会
会議資料	・第1回富良野市障がい者計画策定市民委員会議案 ・資料1 富良野市障がい者計画策定市民委員会設置要綱 ・資料2 富良野市障がい者計画策定市民委員会委員名簿 ・資料3 富良野市障がい者計画の策定について ・資料4 富良野市障がい福祉に関するアンケート(案) ・資料5 今後のスケジュールについて ・資料6 計画策定の進め方・スケジュールについて ・資料7 アンケート調査の概要
その他特記事項	
問合せ先	保健福祉部福祉課福祉係 電話番号 0167-39-2211

市のホームページへの掲載(掲載日 9月 6日)

行政情報コーナー供覧 (供覧日 \_\_\_月\_\_\_日)

## 令和3年度 第1回 富良野市障がい者計画策定市民委員会議事録

日 時 令和3年7月30日（金） 午後5時00分～午後6時20分  
場 所 富良野市総合保健センター 会議室  
出席者 濱本委員長、久田副委員長、川瀬委員、桐澤委員、久保委員、桑原委員、  
佐藤委員、藤田委員、菅原委員（計9名）  
理事者 北市長  
事務局 柿本保健福祉部長、西尾福祉課長、岡田福祉係長、福祉係 向山  
(株)ぎょうせい 廣田研究員

### 1. 開会（17：00～）

（進行：事務局）

ご案内のお時間となりましたので、ただいまより富良野市障がい者福祉計画策定市民委員会の第1回目を始めさせていただきます。

初めに、委員会に先立ちまして各福祉団体、関係団体からの推薦をされました委員8名並びに、市民公募により委員となりました2名の皆様に、富良野市長より富良野市障がい者計画策定市民委員の委嘱辞令を交付させていただきます。

辞令交付につきましては、委員の各席におきまして、順次交付させていただきますので、その場でお受け取りいただきたいと存じます。

それでは市長よろしく願いいたします。

※ 市長より会議出席の委員9名に辞令交付（業務の関係により1名遅延）

ここで、富良野市長より、ご挨拶申し上げます。

### 2. 市長挨拶

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、心からお礼を申し上げます。

障がい者計画策定市民委員会ということで、この委員会の趣旨を理解いただいて、本日も出席をいただきました。

只今、辞令も交付をさせていただきましたけれども、これから2年間にわたってご尽力いただきますが、一つよろしく願いいたします。

障がい者を取り囲む環境というのは、社会情勢の中で大変厳しい状況が続いておりますけれども、この障がい者計画の策定によって基本的人権であります個人の尊厳にふさわしい日常生活、または社会生活ができるように、必要な支援を行うことをそのことによって、全ての市民が障がいの有無に関係なく、分け隔てのない公平な、そして、相互に人格と個人を尊重しながら、共生できる社会の実現を目指して参りたいと思っております。

障がい者施策を効果的に進めるためには、国、道、市、こうした三者の連携が必要であり

ますし、それぞれの立場でその役割に応じた計画を策定することというふうにされており  
ます。

障がい者が地域の中で共に暮らす社会を実現していくためには道の支援のもとで、市に  
配置されている福祉施設等のサービス機関が、国・道の所管する機関等との総合的な現体制  
を構築しながら、障がい者に対して適切なサービスを定期提供できる体制をする必要があ  
りますし、またそのためにも、市で障がい者計画を策定するという意義は大きいものがある  
と考えております。

国の障がい者基本計画、そして道の障がい者計画を基本としながらではありますけれど  
も、今申し上げたことを実現していくために、広く市民の方々の意見をお聞きしなければ  
ならないということでの委員会の設置でございます。

趣旨にご理解頂いてご尽力を頂き、今申し上げた共生型の社会を実現していくための一  
つの取り組みということになりますので、皆様のご尽力をよろしくお願いしたいと思います  
です。

最後になりますけれども、今コロナ禍ということではなかなか人が寄り合う、寄り添う、そ  
してコミュニティを醸成していくということが難しい状況になっておりますけれども、今  
ワクチンの摂取も適時進めさせていただいております。

ワクチンの量についてニュースにもなっておりますけれども、滞ることなく、その供給に  
ついては尽力をしまいたいというふうに思っておりますし、そのワクチンの効果で、今、  
前段申し上げたそのコミュニティの不足しているところ、あるいは人が寄り合うことが困  
難な状況を乗り越えてまいりたいというふうに思っておりますので、そのことに関しまし  
ても、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げながら、開会にあたってのご挨拶、そして  
また委嘱に当たってのお願いのご挨拶に代えさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

### 3. 市民委員の紹介

次に、本日は第一回目の委員会でございますので、委員会入る前に各市民委員のご紹介を  
させていただきたいと存じます。

最初に関係団体からご推薦をいただきました委員からご紹介いたします。

・社会福祉法人 エクウエート富良野、富良野地域生活支援センターの久田委員でござい  
ます。

・社会福祉法人 富良野あさひ郷 サポートステーションすきっぷの川瀬委員でござい  
ます。

・社会福祉法人 富良野市社会福祉協議会の濱本委員でございます。

・富良野市ボランティア連絡協議会の桐澤委員でございます。

・医療法人社団 博友会 北の峰病院の久保委員でございます。

・富良野市特別支援連携協議会の桑原委員でございます。

・北海道上川総合振興局保健環境部 富良野地域保健室の佐藤委員でございます。

・次に、市民公募委員の藤田委員でございます。

・同じく菅原委員でございます。

この他に、旭川公共職業安定所 富良野出張所の工藤委員がいらっしゃいますが、公務のため、若干遅れるということでご連絡いただいております。その工藤委員を含めまして10名の市民委員の皆さんということでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 4. 事務局の紹介

次に事務局のご紹介をさせていただきます。

保健福祉部長の柿本でございます。

柿本でございます。よろしく願いします。

福祉係長の岡田でございます。

岡田です。どうぞよろしく願いいたします。

同じく福祉課福祉係の向山でございます。

向山と申します。よろしく願いします。

改めて福祉課長 西尾です。どうぞよろしく願いいたします。

今後とも、大変お世話になりますが、よろしく願いしたいと思っております。

どうもありがとうございました。

北市長におかれましては、次の公務がございますので、ここで退席をさせていただきたいと思っております。どうぞお許しいただきます。

(市長)

それでは、一つよろしく願いいたします。

(市長公務により退席)

#### 5. 委員長及び副委員長の選任

それでは式次第に沿いまして、4番目の委員長及び副委員長の選出について入りたいと思っております。

選出につきましては、富良野市障がい者計画策定市民委員会設置要綱第5条第1項及び第2項の規定に基づきまして、委員長、副委員長、各1名を委員の互選により選出することになってございます。

互選につきましては、どのような方法がよろしいかお諮りしたいと思っております。

まず方法の例としましては、一つ目委員長、副委員長、併せて指名推選による方法、または選挙による方法、選考委員会設置による方法、事務局案提示の方法などがございます。

どのような選考方法がよろしいか、皆様にお諮りしたいと思っておりますが、ご意見ございませんか。

(委員)

事務局案提示をお願いします。

(事務局)

只今、事務局案提示ということでご意見がございましたが、事務局の方から提案をさせていただく方法でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは事務局案としまして、委員長に富良野市社会福祉協議会の濱本委員に、副委員長にエクウエート富良野の久田委員を選出したいと思いますが、如何でしょうか。

ありがとうございます。

今皆様の方からご同意いただきましたので、委員長に濱本委員、副委員長に久田委員をあてたいと思いますのでよろしく願いいたします。

それでは、濱本委員、久田委員、すみませんがお席の移動をお願いいたします。

ここで、選出されました濱本委員より御挨拶をいただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(委員長)

ご指名いただきました濱本と申します。不慣れなため、至らないところがあるかもしれませんが、ご容赦いただきたいと思います。

今、東京オリンピックが熱くて、この後に開かれるパラリンピックにも多く心を動かされることは間違いないと思います。しかしながら、開会式の準備に関連しまして、様々な事柄が顕在化したことも事実でございます。

問題の解決には、私たち市民の考えや行動を変容させて、地域社会全体が多様性を尊重して、共生社会の実現を目指すことが重要であると考えております。

北市長のご挨拶にもありましたけれども、本日開催しております、富良野市障がい者計画策定委員会は、障がい者計画の策定にあたりまして、広く市民の意見を反映させることを目的とする委員会でございます。より多くのご意見をいただきまして、皆様と忌憚のない意見交換ができればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

ただいま委員長が選任されましたので、ここからは委員会設置要綱第6条に基づきまして、委員長に議長になっていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(委員長)

議事に入る前に、選出されました久田副委員長からご挨拶いただきたいと思います。

(副委員長)

副委員長に選出されました、社会福祉法人 エクウエート富良野の久田と申します。よろしくお願いいたします。

普段は富良野市から障がい者支援の委託事業を請けておりまして、地域にお住まいの障がいを持たれる方の生活のサポート等を行っております。

今回の障がい者計画の策定委員になりまして、今後この計画が地域に住まいの障がいをお持ちの方、また、持っていない方も、全ての人にとって意味のある計画になるように、少しでも尽力させていただきたいと思っておりますので皆さんよろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございます。それでは、これから議事に入らせていただきます。

議事の1つ目、富良野市障がい者計画の策定についてです。

1番目、計画の策定における基本的な考え方から、3番目の作業スケジュールについて、説明願います。

(事務局)

- ① 富良野市障がい者計画の策定について
- ② 富良野市障がい者計画のアンケート調査について  
→ 資料3・資料4により説明。

(委員長)

ただいま説明がありました、富良野市障がい者計画の策定において、基本的な考え方から作業スケジュールについて、委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。

(委員)

2点ほどお聞きしたいのですが、まず初めての委員ということで、今ご説明いただいた方は富良野市の方ではなく、どういう立場でどのような関わりをされる方なのか、事前の説明がなかったので、お聞きしたいのですが。

(委員長)

事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

先程、事務局の職員につきましてはご紹介させて頂きましたが、ご紹介が抜けておりました。大変申し訳ありません。

今年度より、この障がい者計画の策定を進め、富良野市がこの計画を作る上で、「株式会社 ぎょうせい」さんとの間に策定に関する業務委託という形をとらせて頂いてごさいます。

今回は、計画の策定に当たり全般に渡ってアドバイス等のご支援をいただくことになっております、「株式会社 ぎょうせい」の廣田研究員さんに来ていただきまして、ご説明をいただきました。

(委員)

今後、アンケートを実施し、その結果の考察等、そういったことを一括して「ぎょうせい」の方でやっていただくということなのですか。

(事務局)

はい。今、ご指摘いただいた通り、一旦こちらの方もアンケート策定の方の支援もいただきまして、今回この後またアンケート調査の内容についてご審議いただくことになってごさいますが、「ぎょうせい」さんの支援のもと、アンケート調査票を作成して配布、その後回収し、アンケート調査の内容についての評価や分析を行い、委員の皆さまへの報告までを「ぎょうせい」さんの支援を受けて進めていきたいという考えでございませう。

(委員)

分かりました。もう1点良いですか。

いただいた資料の中に、「障害」の標記が漢字で当てているものと、ひらがなであてているものの違いを説明いただけますか。

(事務局)

ありがとうございます。「障害」の害という字を漢字にするかひらがなにするかということですが、こちらについては各地で対応が非常に異なるというのは前提としてごさいませう。

国としては「障害」の害という字については漢字を使えます、というのが統一した見解を平成12年頃に示されいて、国としては、「障害」の害をひらがなにしないというルールが決まっているところでごさいませう。

ただし、それまでに「障害」の害をひらがなですべて使ってきたというような自治体もごさいませう。今回の資料で「障害」というところの表記については、基本的に法律や、制度に定められている部分については、漢字の「害」を使っておりますが、それ以外の部分については基本ひらがなを使い分けてさせていただいております。いわゆる法律・制度の名称、そして診断名などについては漢字になっておりますが、それ以外の市の取り組みに関連するような部分については今回ひらがなでの表記とさせていただきます。

実際計画を作っていく上でもこの表記というのは非常にちょっと課題になりがちの部分でごさいませうので、あらかじめ皆様にもちょっとご意見をいただきたいところではごさいませう。

ます。ぜひご検討いただければと思います。よろしく願いいたします。

(委員長)

○委員、今の説明でよろしいですか。

(委員)

はい。そしたらアンケートの表示についても文言精査する必要があると理解してよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。ありがとうございます。こちらはですね、当然手帳をお持ちの方や、サービスをお使いの方にお答えいただくものですので、最大限配慮させていただきたいと思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。

(委員)

はい。わかりました。

(委員長)

他にご質問はありますか。○委員お願いします。

(委員)

私は第4期の障がい者計画策定委員もやらせていただきまして、計画の必要性は理解しているつもりですが、そのときにもアンケートを実施したわけです。

今も多分残っているはずだと思います。私も障がい者ですけども、私の印象として前回アンケートを出して、またアンケートか、という印象です。

その後アンケート出した結果どうなったのかという検証をされているのか、それによって福祉の現状が改善されたのかというところを、やっぱり皆がわからないと、今回のアンケートよく出てこないと考えますが如何でしょうか。

(委員長)

事務局の方に今、○委員から検証と効果ということについてアンケートのご意見がありました。よろしいでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。

現行の計画でございます第4期計画を作る際のアンケート調査を、平成29年2月24日

に調査をさせていただきますして、第4期の計画を作るときに、ご意見として使わせていただいております。

今、○委員からご指摘があった部分、この第4期を作った後のアンケートを取って作った後の状況というところがございますが、第4期の計画の中にもございますように、計画の進行管理の中で中間報告という形で、委員会を別途の実務者会議で、開催を計画してございますので、その中で、第4期の計画が今どのような状況にあって、どのような課題を持っているのかということ、その中で取りまとめ、次回の市民委員会の中で、計画に対してどういう状況なのかということをお報告させていただきたいというふうに考えてございます。

(委員)

このアンケートっていうのは、今回、計画作る上で再び調査しなければならないのですか。

(事務局)

平成29年にアンケートを取らせていただき、既に4年半経過しているということもあり、この間に、生活状況等も含め、制度等も若干変わっているところもございますので、そういった状況が変化しているのではないかと、また思っているニーズの変化があるのではないかと、ということもあり、第5期の計画策定に向けて、再度アンケートをとらせていただきたいと思いますと考えてございます。

(委員)

反対はしていませんけれども、私は長い期間富良野で生活しておりますして子供のころから障がい者でしたので計画には関心がありますが、アンケートを取られたのは前回は初めてのような気がします。

前回の計画策定時には、こういうアンケートは大切だなというふうに思っていたので書いて提出しましたが、今回改めてアンケートを提出するっていう気持ちには中々なれません。

前回のアンケート調査を振り返って、現実化されていないことについてであればそれについてのアンケート調査をして良いと思います。今回のアンケートの内容は多分私の記憶では前回とほぼ同じようなものになっていると思います。個別にはいろいろ変化はあると思いますが、体制的にはほとんど変わらないのではないかなと感じます。

(委員長)

今、委員のご意見の中で、今回のアンケートが、前のアンケートと同じような内容で、その期間が短いか長いかは別としまして、また同じアンケートかと思われているということ、で危惧されているのであれば、今回のアンケートを取るときに同封する封書の中に、前回のアンケートから今に至るまでこういう変化がありましたなどの、簡略化したものを入れることによって、アンケート答える方も答えやすくなるのかなとお話をお聞きしながら感じていたのですけれども、いかがでしょうか。

(委員)

反対はしませんが、ただ同じアンケートであるならば、特に必要はないと私はそういう気がします。もしアンケートをお願いするのであれば、前回できなかったことについてなぜできないかそれについて、もう一度障がい者の方々に意見をご協力いただきたいという形のアンケートの方が良いと思います。

(事務局)

実際に今おっしゃったような部分についても、反映させることとして事務局サイドで考えさせていただきたいと思いますが、一つお願いしたいことは、アンケートお答えいただいた方には、前回と変わらないのではないかとということで非常にご負担かけるかもしれませんが、我々といたしましては、同じアンケートの項目もあって、それで経時的に、年によって同じ項目がどのように変わってきたのかということも捉えたいという部分でございます。

ですから、どうしても同じようなアンケート項目にもご協力いただかなければならないということもご承知おきいただきたいということでお願いでございます。

(委員)

釈然としていない部分もありますし、計画を作るためにアンケート調査をするっていうことに対して私は嫌だなと感じます。同じことを同じスケジュールに乗っ取って進めるというのは違うのではないかなと感じますので、ご配慮願えればと思います。

(委員長)

貴重なご意見ありがとうございます。

事務局さんと「ぎょうせい」さんの方も、そのアンケートの切り口等も含めて、検討する部分はできると思いますので、お願いしたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

委員が確におっしゃられたようなご意見を、各地において数多くいただいているというのが我々の立場としてもございます。とはいえ、同じような形・設問を取っていくところについては先ほど事務局から説明がありましたけれども、過去5年からどう変わったのかという変化を抑えるにはどうしても必要になってくる部分が少なからずございます。

一方で、社会情勢の変化ということも含めていくと、当然その設問自体を部分的に改良させていただいております。

例えば、性別の部分ですが、最近はLGBTなどと幅広く知られているようになってきておりますけれども、そちらへの対応や、また、今後非常に重要になってくるものとして、障がい者のある方への配慮というところで今回障がいがある方への設問になりますけれども、権利擁護・成年後見制度といった制度が始まっていますが、こうした点については前回より

も若干変化があるのではないかなというところで我々も見通しを立てている部分でございます。

(注) L G B T = Lesbian (レズビアン)、Gay (ゲイ) Bisexual (バイセクシャル)、Transgender (トランスジェンター) の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われる。

以前、第4期の計画を作られたときの設問をあえて同じような形で今回把握をさせていただき、この間にどのように変わったのかといったところまで皆様にお示しできればなと思っております。

今回、他に新たに設問を追加させていただいているもの等がございますので、皆様のご意見も踏まえてより良い調査票にさせていただきたいと思っておりますので、是非この後の調査についてはご議論いただく時間がございますけれども、その場でこういう聞き方がいいのではないか、こういう表現が良いのではないか、あるいはこの設問は不要ではないか、というのも当然あってしかるべきかと思っておりますので、ご忌憚のないご意見をいただければと考えている次第です。何卒よろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございます。○委員お願いいたします。

(委員)

簡単な質問になりますが、計画の期間を今回4年間とした理由について再度ご説明頂きたいです。障がい福祉計画、障がい児福祉計画との兼ね合いということであったと思いますが、もう1度説明をいただいてもよろしいでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。

計画の期間についてですが、今回4年間という形でご提案させていただいているのはあくまでも予定ということで、改めてご理解をいただければと思います。

実はこの障がい者計画というものについて、計画期間は任意というのが法律上の決まりでございます。これまで、国でも、10年とか5年というかなり長い期間を計画期間として定めているところですが、一方では、障がいのある方の生活を支援していく、いわゆる障がい福祉サービスというものについて定めており、障がい福祉計画と障がい児福祉計画という計画につきましては、3年間で1括りと法律上決まっております。

従いまして、5年ないし10年として障がい者計画期間を設定してしまうと、それぞれの計画期間が若干ずれ、見直しのタイミングがずれてしまったりとか、あとは当然作る時期が違ってしまうので、そこで計画間で若干表記の揺れであったりとか、事業に対する記述の揺れが生じてしまうというような都合もございます。そういった状況を踏まえまして多くの自治体さんで、障がい者計画は6年ないし3年という形で3の倍数の計画期間を設定する自治体さんも増えてきておりまして、かなりそちらの方が多数派かなという印象も受けて

おります。

今回あえて4年間とさせていただいているのは、第7期の障がい福祉計画、そして第3期の障がい児福祉計画、こちらについては、再来年作っていく形になりますけれども、この計画の完了を見据えて、見直しをする時期を同じタイミングとする事が合理的であり、コスト・時間といったところの観点からしても、無理・無駄のない見直し作業が可能であると考えております。

今回4年という形でご提案をさせていただいて、そこから先は6年間にしていくというのは、計画上の不整合を防ぐといったことや、見直し作業の一体化といったところも含めてご提案をさせていただいている次第でございます。

(委員長)

よろしいでしょうか。

ご意見等、ご質問等ある方いらっしゃいますか。

それでは次に進んでもよろしいでしょうか。

それでは議事の2つ目で、先ほど少し触れている部分ではありますけれども、アンケート調査の概要案について、説明をしていただきたいと思います。

(事務局)

皆様のお手元でございます、「資料4 富良野市障がい福祉に関するアンケート」についてご説明をさせていただければと思います。こちらにつきましては以前、第4期の計画を策定した際に実施していただいたアンケートこちらをベースに、必要な修正箇所等を追加させていただいた内容になってございます。

基本的には同じような形になっていきますけれども、一部修正をさせていただいたような部分がございます。具体的に言いますと、「問2」性別をお伺いする内容で、こちらについては今まで男女という形で聞いたりするパターンがございましたけれども、今回は答えたくないというような形、それがいわゆる第3の性別なんて言われたりすることがございますけれども、こういったものを把握させていただく形とさせていただいています。

また、聞き方の部分になりますが、「問4」のお持ちの手帳・障がいの種別の設問がございます。

これまで手帳以外にも発達障害や、手帳を持たない方の選択肢、いわゆるその手帳という扱いから漏れる部分もございましたので今回整理をさせていただいて、「問4」につきましては、回答された方がお持ちの受給者証ないし、手帳を伺うような説明をさせていただいています。

「問4」にございました、発達障害かどうかを伺う設問については「問5」という形としてここでまとめさせていただく形となっております。

それ以外の部分について、以前の調査票では若干表記が揺れていたような部分もございましたけれども、そこも合わせて修正をさせていただいて、より回答しやすいような形で誘導する点線をつけておりますが、ほぼ他の設問に関しては同様というふうに認識していた

だいてよろしいかと思えます。それ以外に追加した内容について、簡単に説明させていただきます。

アンケート調査票の最終ページの 15 ページには、安心・安全についての設問を用意し、災害時の避難に関する設問となっておりまして、今回問いを追加させていただいております。

「問 29」にあります「ハードマップの避難場所を確認していますか」という質問について今回新たに追加をさせていただいたものでございます。

また、続いて 16 ページの「問 32」でございますが、以前のアンケートにはありませんでしたが、障がいのある方にとって本市が生活しやすいかどうかという非常にざっくりした設問ですけど、今回あえて設定をさせていただいて、いわゆるトータルでの障がいのある方の暮らしやすさについて今回設問を追加しております。その他に自由記載欄が前回もございましたけれども、より明確な形で記載できるようにさせていただいている次第でございます。

また内容や表記、選択肢の作り方または設問肢の作り方といったところで気になるところ、ご意見等を賜れば幸いです。

なお、配布数ですが約 1,700 票を今回想定させていただきます。基本的に障がい関係の手帳所持者や医療受給者などを想定している次第でございます。

(委員長)

はい。ありがとうございます。

ただいま障がい者計画に関するアンケートの素案の部分で、「問 2」で多様性の部分を追加しました。

それから、15 ページの「問 29」では、ハザードマップ、障がい者の方が避難する部分も追加し、16 ページの「問 32」では富良野市は生活しやすいですかなどの問を加えましたという説明がありましたけれども、これにつきまして、委員の皆様からご意見ご要望等あればお伺いしたいと思います。○委員お願いします。

(委員)

1 点確認と 2 点質問です。まず 1 点目は、我々委員のこれからの仕事として、このアンケートをどのレベルまで、関わることになりますか。

もうその文言を精査して、この今の実態に合ったアンケート内容にかなり意見反映させていく役割を我々は担っているのですか。それとも「ぎょうせい」さんの方からある程度示されたものを確認して了解するというような役目なのですか。

それによっていただきたい資料変わってくるはずですよ。

例えば、かなり内容に関わる立場であれば、まず第 4 期障がい害者計画の先ほど○委員のご意見とちょっと被ると思いますが、そもそも成果と課題がわからないと、このアンケートの目的趣旨も正直私も理解できません。

さらに、前回と今回どのように変わったのかっていうことを精査するためには、前回どん

なアンケートが実施されたのかという、前回のアンケートを資料としていただかないと、検討することがそもそもできないかなと思いましたが、我々の役割とか、どこまで踏み込んだ使い方をするのかと具体的提示していただくことで、意識も変わってきますけど、如何でしょうか。

(委員長)

まず1点目、我々委員会が担うその役割の部分ですが、このアンケートについて、計画の中身についても当然関わっていく立場だと思うのですが、これは事務局の方に確認すればよろしいでしょうか。

(事務局)

今の○委員のご質問にお答えさせていただきます。各委員におかれましては、今回のどこまで関わるかというところでございますが、この計画を策定する上で、今おっしゃられたような、今の業者さんからもらったものを見て、良い悪いという判断だけではなく、今回各推薦団体からの推薦いただいているように、それぞれの立場において、今の状況をこういうふうに変えた方がいいのではないか、など様々な意見をいただきたいと思っております。先ほど言われたように、アンケートの内容について設問がやはりこれはおかしいということがあれば、踏み込んだ形でご意見をいただければと思っております。

(委員)

であれば、今お話した第4期富良野市障がい者計画の成果と課題、○委員が先ほど言われた、前回アンケートを実施して達成できている内容と、未解決のものが何なのかを明らかにしていただかないと、アンケートに反映させることはできないと思いました。

併せて、前回どのようなアンケートが実施されたのかという現物を資料として提供していただかないと、比較検討も無理であると思いました。

また、改めて反省を含めてなんですけど、私は学校教育を代表して今この場に参加してはいますけれども、実はこの上位計画をもとに、この令和3年度特別支援教育の第4次マスタープランというのを策定して、その策定した期間は5年間というふうに、教育長のほうから諮問を受けて計画を立てています。

そうすると、ここに書かれている、第4期富良野市障がい者計画の37ページにあります「基本施策3 教育・発達支援の充実」中、「特別支援教育の充実」という部分がありますが、もうすでにこの上位計画と特別支援教育で、策定したマスタープランの年数に実はもうずれが出てきて、この上位計画を読んだときには、既に学校現場では使われていない文言であるとか、教育行政上そういったポストがもうないっていうのも踏まえて多分こう変わるだろうという想定なので、実は作り変えたというものがあります。

そのような事情もありますので、そこも踏まえて、アンケートに反映させていただきたいなど、実は強く思っています。その回答をするのが、義務教育の部門であったりするケースが多いと思っておりますので、ぜひご検討ください。あの「ぎょうせい」の方には、第4次マスタ

ープランを少し読んでいただいて、アンケートもその辺も反映させていただけると、作った甲斐があるかなと思います。

(事務局)

ありがとうございます。事務局、「ぎょうせい」の方よろしいですか。

(事務局)

私の方からはいわゆる技術的なところでお話をさせていただければと思います。

現行の計画の達成状況やその進捗状況についてはこれから調査をされるというふうには伺っておりますけれども、そちらについては事務局の皆さんと一応調整をさせていただきたいという次第でございます。

それ以外のアンケート調査全般に関する技術的な部分でお話をさせていただきますけれども、アンケート調査票については、4の倍数のページ数で作っていくというのが基本となります。こちらいわゆる印刷上の都合になりますけれども、現在16ページという形で提案をさせていただいております。

全体でトータル34問、実際枝の設問でございますので、もう少し数はありますが、これぐらいのページ数の方が答えやすいかなというところもあり、更に増やしていくと非常に負担になってくるものと感じてございますので、総数16ページに収まる範疇で追加や修正をしていくというのを我々としては想定してございます。

実際、第4期の計画と内容も含めて必要な設問というのも当然追加しなければならないと思っておりますので、そういった内容も可能な限り反映をさせていただいて、皆様にとってもより有意義な形で調査を実施できればと考えている次第でございます。

そういった作業によってはスケジュール等も見直しが必要になるのかなという認識でございますが、その際は事務局の皆様も調整をさせていただいた上で実行してまいりたいと考えている次第です。

(委員長)

今、「ぎょうせい」の方から説明ありましたが、委員の中から第4期計画に対してその検証やアンケートの中身等について、我々委員の方に示してほしいということが出ておりますが。

(委員)

それは可能ですか。

(事務局)

色々ご意見いただきましたのでまとめてお答えさせていただきますが、前回アンケートについて様々な意見が出てきており、項目を追加すべきかなどということもございましたが、まず前回アンケートをかけたときの現物については本日用意できないものですから、

改めて各委員に送らせていただきたいと思います。

また、先程より色々ご審議いただいているところでございますが、今回は事前にアンケートを送っておりまして、この内容で良ければそのまま送付をしたいという考えも持っていたところですが、皆様からの様々なご意見をお伺いしますと、この内容についての審議ももう少し慎重にやらなければならないなど感じているところでございます。

アンケートの実施時期につきましても、「ぎょうせい」さんより説明を受けました「資料2の富良野市新たな障がい者計画の策定について」の中で作業スケジュールも示されておりましたが、その部分も再度見直しをした上で改めてご提示させていただきたい。

また、今の現行計画の中で、前回のアンケートをとってから、どういった状況になっているのか、現状がわからないとこのアンケートに盛り込む項目もわからないというご意見もございました。

先ほど〇委員よりご質問いただいて、ここで回答させていただいてございますが、今の現計画につきましても評価については、実務の担当のところともあわせまして、中間報告・評価をさせていただいた上で、それをまずお示しと報告をさせていただきたいと考えてございますので、それを踏まえた上で、再度またご検討いただければと思っております。よろしいでしょうか。以上でございます。

(委員長)

今事務局の方から、当初、本日提示されたこのアンケートをたたき台にしてという話がありましたけれども、今回の委員会の中で様々な過去のデータも必要だというようなご意見があって、比較対象がある中で検討していきたいというご意見が多いので、そういう方向に、事務局、それから「ぎょうせい」の方も変更していきますということですが、よろしいですか。

(委員)

はい、一言良いですか。

今回、障がい者に対してアンケートをお願いするという形だと思うのですが、私は違う方法があっても良いのではないかなと考えておりまして、ある種思いつきみたいなものかもしれないですけど、障がい者でない健常者に障がい者のことをどれだけ知っていますかという、アンケートの方が効果的ではないかなという気がしています。

一般の健常者が障がい者のことを知らなすぎるのではないかなと思うので、逆に障がい者にアンケートを取るのではなくて、健常者の方が障がい者の方にどれだけ手を差し伸べられているのか、そういう必要とする人がいるのを知っていますか、という方が私はアンケートとしては、より効果的ではないかなというように思っています。

(委員長)

〇委員、貴重なご意見ありがとうございます。

今、〇委員の方から、当事者のみではなくてその背景の部分も大事ではないかのご意見

がありました、それに加えるのであれば、障がいを持った方に対し実際に支援をしています、○委員、○委員、副委員長もそうですけれども、そういった施設や事業所としてのご意見を汲み上げることをアンケートに限らず、何かあったらいいのかなと思うような気がしております。

(事務局)

非常に貴重なご意見ありがとうございます。

只今、「ぎょうせい」さんとも相談していたのですが、非常に恥ずかしい話ですが、予算を伴うことになりますので、アンケートの部数を増やすことなどについてもこれから検討させていただきます。

今の意見を汲み取るような形でのアンケートについても、検討したいと思いますので時間をいただきたいと思います。

(委員)

誤解のないように説明しますが、私達は今言ったことをすべてやってくださいということを行ったわけではなく、その方法も効果が得られるのではないかと思いました。

(事務局)

可能性を探っていきたいと思います。

(委員長)

今、事務局の方で出来るかどうかも含めて検討したいという意見でした。

後、他にありませんか。

○委員お願いします。

(委員)

私は、第4期の計画策定の時に委員として参加させて頂いてしまして、本日、前回の資料等を持ってきており、前回のアンケートを見ていたところ、今日配られたものにも前回の結果も概要も多少書いてあるところもあるので参考にして頂ければ良いと思います。

健常者の方が、どのように障がい者が困っていたか、自分たちや家族にそういう方がいて、こういう場面で困っている、過去にこういうことがあったなどすごく良い意見を聞けると思います。

予算の問題もあると思いますが、次の計画ができるまでの間の中で、並行して何か形として、障がい者ではなくても健常者であれば、例えばインターネットでその文書を作ったもののアンケートではなくても、いろんな形でできることもあると思うので、並行してやれることができたならというふうに思いました。

それと、前回のものを見ながら比べていますが、前回のアンケートを取ったときにあったルビや、ひらがなでの説明や点字などを加えたものが必要な方にはまた別なものを送りま

すというのは、前は表記がされていました。今回はそのような表記がないので何か理由があるのでしょうか。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

今、○委員からのご質問で前のアンケートとの表記の違いについて事務局より説明をお願いします。

(事務局)

ありがとうございます。

このアンケート調査の概要ということで資料をつけさせていただいてございます。

希望者にはふりがな付のアンケートを送付ということで、実際、差別解消法がございまして、合理的配慮の中でルビ付きのアンケートという形が本来はありますが、後ほど加えるというように考えてございました。

ですが、ルビを全部に振ってしまうと、うるさくなってしまい、見るのが嫌だ、という意見が実はありましたので、必要最小限のルビを振らせていただいたアンケートを策定し、希望者にはこちらから再度その方にルビを振ったものをお送りするというふうに考えてございます。

(委員)

細かいことになりますが、ハザードマップなど、語句の意味が理解できないのもあるかもしれないので、計画の後で語句の説明などを付け加える事でも良いと思います。

(委員長)

貴重なご意見ありがとうございます。

今のアンケートについては資料の方の説明にありましたけれども、○委員、これでよろしいですか。他にご意見ある委員の方、ご質問のある委員の方がいらっしゃいませんか。

○委員いかかでしょうか。

(委員)

前回のアンケートの有効回収率は53.2%で、もう少し高くしなければならないと思いました。せめて6割を目標とされたい。何故、53%になったのか、私には想像するしかないのですが、行政側で、何故53%程度になったのか分析できているのかと疑問に感じました。

(委員長)

はい、ありがとうございます。前回のアンケートの回収率についての要件がありました。

逆に今回のアンケートがこれをもっと大きく回っているような意見が反映できるようなも

のが、我々委員会で良い意見を出し合っていければ良いのかなと思います。

○委員は何かありますか。

(委員)

アンケートの「問8-2」は選択肢が2つしかないので、「問2」のように、選択肢を増やすべきだと感じました。

(委員長)

貴重なご意見ありがとうございます。またこれからそこも含めて検討していくことになると思います。

そうしましたら、アンケートに関して、ご意見は皆さんよろしいですか。

なければ、次の方に進めさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは最後その他について、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

事務局からですが、前後してしまい大変申し訳ございませんが3枚資料をお配りしてございます。

今日の7月30日の辞令交付から今後8月、9月と実務者会議を開きまして、中間報告を検討することになってございます。

10月に入りますと予定では第2回の市民委員会を開催するところですが、今回アンケートについて前回との対比が必要ということでご提案がございましたので、スケジュール調整しながらご通知を差し上げたいと考えてございます。

さしあたって計画につきましては、2ヶ年の計画で進めていきたいと思っております。

令和3年度はまずニーズ調査ということでこのアンケートの調査を主として市民委員会を開催する運びでございます。令和4年度につきましては、計画書素案の作成および検討ということで、実際の障がい者計画の冊子について、いろいろと検討を進めていきたいと考えてございます。

最後3枚目はアンケート調査の概要ということで、予定では、9月1日現在を基準日としまして調査対象者を約1,700人と考えてございます。

郵送により返信用封筒等を同封しまして、9月に発送し、10月に回収して中身を精査・分析しまして、12月の市民委員会でアンケート調査の報告をする予定でございます。

また、今回は辞令交付ということで、お仕事されている方がいらっしゃることから、17時からの開催ということでスケジュールを組ませていただきましたが、第2回目からの開催時間は、何時からの開会が皆さんの都合が良いか、お諮りしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

今回の委員会でいろいろ前向きなご意見が出ましたので、スケジュールの若干調整が今後行われるという説明がありました。

また、次回の委員会について、開催時間はどのぐらいのお時間がよろしいでしょうか。

今回のように、17時からの会議で良いかどうかを含めてご提案がありましたけれど、委員の皆様、いかがですか。今回の時間より早いか、それとも遅くというのはあまりないかと思えますけれども。

業務の関係で17時ぐらいからというご意見ありましたけども、よろしいですか。

そうしましたら、全部同じ時間でということで、ご意見受けました。

(事務局)

ありがとうございます。

後もう一点お願いですが、今日の会議のご案内をさせていただいたときに、指名承諾書等をお持ちするようにご案内させていただいておりますので、委員を連続されている方にはご案内していないのですが、お手元にお持ちでしたら、御帰りの際に事務局の方までご提出ください。よろしく願いいたします。

(委員長)

委員の皆様からその他で何かありますでしょうか。

なければ、今回の第1回の委員会を閉じさせていただいてよろしいでしょうか。

本日は限られた時間の中で前向きにいろんな意見を出していただきましてありがとうございます。事務局の方も、予算の関係でできることとできないことあるというお話がありましたが、できないことは皆さんで知恵を出し合って、○委員からも提案ありましたが紙媒体でないものもできるかもしれないという意見もありましたので、皆で意見を出し合って良いもの作っていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

(閉会 18時20分)